

1 つぎの お話を よんで もんだいに こたえましょう。

ある日、けいたは、お父さんといっしょに、近くの川へ行きました。

空はよくはれていて、水はきらきらと光っていました。

けいたは、「はやく入りたいな」と思い、くつをぬぐ手もすこしいそいでいました。

川に入ると、水は思っていたよりつめたく、足がぴりっとしました。

でも、すぐになれて、石をひろったり、小さな魚をさがしたりしてあそびました。

川の音をききながら、ゆっくり歩くと、すべりやすい石もあることに気づきました。

そのとき、少し上のほうで、水のながれがはやくなっているばしょが見えました。

お父さんは、「あそこはあぶないから、ここであそぼう」といいました。

けいたはうなずいて、あんぜんなばしょで、また石をひろいはじめました。

しばらくあそんだあと、川からあがると、体はすこしつかれていました。

でも、けいたは、「あんぜんにあそべてよかった」と思いました。

川あそびは、たのしいだけでなく、気をつけることもたいせつだった日でした。



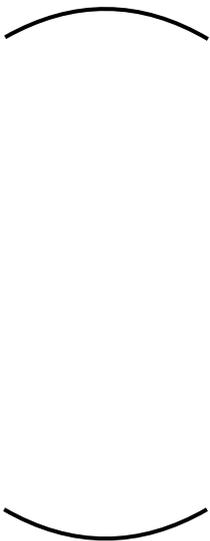
(1) つぎの文の()に入ることをばを、文章の中からさがして書きましょう。

「けいたは、川で、(①)、() (②) をさがしてあそびました。」

① ()

② ()

(2) お父さんが、「ここであそぼう」といったのは、なぜですか。文の内容をもとに書きましょう。



(3) 川からあがったあとのけいたの気持ちとして、いちばん近いものをえらび番号を○でかこみましょう。

① たのしさと同時に、あんぜんにあそべたことにあんしんし、こころがおちついたようす

② あぶない目にあつかもしいれないと思ひ、もう川であそぶのをやめたいとかんじているようす

③ 体はつかれたが、あそびがうまいから、気持ちはずんでしまったようす

④ まだつづきたい気持ちがつよく、思うようにあそべなくていらだっているようす

1 つぎの お話を よんで もんだいに こたえましょう。

ある日、けいたは、お父さんといっしょに、近くの川へ行きました。

空はよくはれていて、水はきらきらと光っていました。

けいたは、「はやく入りたいな」と思い、くつをぬぐ手もすこしいそいでいました。

川に入ると、水は思っていたよりつめたく、足がぴりっとしました。

でも、すぐになれて、石をひろったり、小さな魚をさがしたりしてあそびました。

川の音をききながら、ゆっくり歩くと、すべりやすい石もあることに気づきました。

そのとき、少し上のほうで、水のながれがはやくなっているばしょが見えました。

お父さんは、「あそこはあぶないから、ここであそぼう」といいました。

けいたはうなずいて、あんぜんなばしょで、また石をひろいはじめました。

しばらくあそんだあと、川からあがると、体はすこしつかれていました。

でも、けいたは、「あんぜんにあそべてよかった」と思いました。

川あそびは、たのしいだけでなく、気をつけることもたいせつだとした日でした。



(1) つぎの文の()に入ることをばを、文章の中からさがして書きましょう。

「けいたは、川で、(①)、(②)をさがしてあそびました。」

① () 石をひろったり ()

② () 小さな魚 ()

(2) お父さんが、「ここであそぼう」といったのは、なぜですか。文の内容をもとに書きましょう。

解答例) 水のながれがはやいばしょがあって、あぶないと思ったから。

(3) 川からあがったあとのけいたの気持ちとして、いちばん近いものをえらび番号を○でかこみしょう。

① たのしさと同時に、あんぜんにあそべたことにあんしんし、こころがおちついたようす

② あぶない目にあつかもしいれないと思、もう川であそぶのをやめたいとかんじているようす

③ 体はつかれたが、あそびがうまくいかず、気もちがしずんでしまったようす

④ まだつづきたい気もちがつよく、思うようにあそべなくていらだっているようす